

## 第8回鳥取県トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会 議事概要

平成29年11月17日(金)

13:30～15:30

鳥取労働局 4階 大会議室

出席者名簿：別紙のとおり

### I. 開会

<今回の協議会に当たって>

座長より、現段階において、パイロット事業に参加する全ての事業者から実名公表の承諾を得られていないこと等を踏まえ、前回同様に会議は非公開とする旨、提案あり。

→ 各委員了承

### II. 議題

#### 1. 平成29年度パイロット事業の取組み状況について

資料により説明（株式会社日通総合研究所 大島 Unit Leader）－省略－

#### 2. 報告事項

##### (1) 第7回トラック輸送取引環境・労働時間改善中央協議会の概要

資料により説明（鳥取運輸支局 竹谷首席）－省略－

##### (2) 中小企業・小規模事業者における「働き方改革」に向けた政府の取組み状況について

資料により説明（鳥取労働局長 内田委員）－省略－

#### 3. 意見交換

パイロット事業の取組み状況の説明や報告事項等を踏まえ、各委員による意見交換が行われた。

<主な意見>

○運賃が上がると、商品価格に転嫁されるなど、どこかにしわ寄せが来る。より良い仕組み作りが出来ればと思う。(学識経験者)

○現状、手作業で荷卸しをしている部分は、パレット化することにより大幅な時間短縮が見込まれる。パレットで荷を運んで、卸す際は手作業といった部分は改善したい。(コンサルタント)

○一貫パレチゼーションしたいといった声はいろいろなところが出るが、パレットをいかに管理するか、紛失しない仕組みをどう作っていくかが、運用上の大きな課題と

- なっている。その解がなかなか作れないといったことが現場の大きな悩み。(コンサルタント)
- パレットの規格を標準化できたら良い。(トラック事業者)
- 飼料・肥料については、重量重視であるため、パレット化もしやすいかと思われるが、製品輸送など容積重視のものは、今までバラで運んでいたものをパレット化することで、運べる量が減少する可能性もある。(コンサルタント)
- 現行のパレットは発・着荷主が自分に有利になるような条件の下で使用されており、その負担が運送事業者にかけて来ている。(トラック事業者)
- 安全で恒久的な配送システムをどのように構築していくかが荷主と運送事業者の共通話題であると思われる。これらを前面に出していける環境作りをしていただきたい。(トラック事業者)
- 標準貨物自動車運送約款の一部改正が行われたが、運送事業者と荷主がどこまで寄り添って、話をすれば良いか分からないところもある。一つの形を作っただけならば、それに添った形で運送事業者と話が出来る。生産者の方にも、運送事業者に運んでいただくといった意識を持ってもらわなければならない。荷を発送する側もしっかり対応していきたいと思う。(経済団体)
- 時間外労働の上限規制は、一般則は年720時間、自動車運転業務は改正法施行5年後に年960時間にするとあるが、脳疾患、心疾患が一番多いとされる自動車運転手こそ時間外労働時間を短くしなければならないのではないかと。(労働者団体)
- 標準貨物自動車運送約款の一部改正に関連し、荷主と運送事業者が交わした契約内容を国としてどうチェックしていくのか。(労働者団体)
- 現段階において当事者間の個々の契約内容について、国としてチェックする予定はない。(事務局)
- これまでサービスとして見られてきた部分も、今後はきちんと請求出来るように見直しが行われたが、荷主と運送事業者間で、強弱の力関係がある中で、運送事業者側だけが泣いてしまうということにならないためにも、どのように情報共有していくかが大事。今後まとめられるガイドライン等でもそういったことも触れられるのではないかと。そうしたところ等を踏まえ改善を期待していくとしか言えないのではないかと。(事務局)

いかと思う。(学識経験者)

○適正な運賃料金収受については、運送事業者間における下請、孫請といった分野へのしわ寄せの問題もあると思う。この部分もきちんと整理等されなければ、元請けでは荷主からきちんと運賃料金を収受出来たとしても、下請け等では収受出来ないといったことにもなりかねない。今般の改正で一つの考え方の枠組みが作られたので、これを実行出来るようにしていかなければならない。(行政)

○荷主団体にも、物を作るだけでなく、物を運んで初めて経済が成り立つというところを理解していただきたい。会員の皆様にも周知をお願いしたい。(行政)

○運送業界は若い方が入ってきておらず、平均年齢が高くなっている。今後このような状況が続くと、日本の物流がどうなっていくのかと心配する。

基本的には、朝、家を出て、夜に帰宅し子供の顔が見られるような職業を皆が望んでいるのだと思う。人間の価値観が多様化し、24時間営業の店が出来たり、正月休みなしで営業しているお店が出来たなど、人々のニーズが高まれば企業はそれに合わせていき、その結果、しわ寄せが運送事業者に掛かってくることになる。労働時間の短縮をしたとしても、こういった根本的な部分も改善していかなければ、運送業界の担い手・育成は難しいのではないかと思う。(学識経験者)

○若い人を運送業界に入れるためにも、労働環境を整え、魅力ある産業にしていかなければならない。(行政)

○労働災害も踏まえた労働時間の短縮は課題である。本日の会議での説明や議論いただいたことも踏まえて今後検討していきたい。(行政)

《座長》

安全、健康管理といった部分を守っていただくと労働災害が減少するのではないかと思う。併せて労働時間短縮のための方向性もある程度見えて来つつある中で、合わせ技として、運送業界も良い環境になっていくのではないかと思われる。

そのためにも、リーフレットなどは業界人だけでなく、こういう料金が本当は掛かっているということが一般消費者にも分かるような形をとっていただければと思う。

広報は大切なことなので、情報共有化という観点で力を入れていただきたいと思う。

### III. 閉会